自社製造の堆肥を試験的に利用し、約80種140本のツルバラやイングリッシュローズを栽培する「のじりアグリサービス」。6年前に一般開放してから、市内外から多くの観光客が訪れるようになった一大名所

バラの名所3施設を巡るイベントを初開催

バラ満開の野尻にぎわう

口コミで広がり、年々観光客が増えている「野尻のバラ」。観光施設や国道沿いの各家庭などで栽培が広がり、視察の受入れや、メディア取材も増えています。「野尻のバラ」が、今、盛り上がっています。

バラの品種の違いを楽しんで。3施設が協力し、バラの名所・野尻をPR

地域活性化の一つとして、地域を上げてバラ栽培に取り組む野尻地区。その花が見頃を迎える時期にあわせ、町内3施設で「のじりばら祭」が初開催されました。5月中旬の週末に、特産品や食事券などが当たるスタンプラリーを実施。多くの観光客が施設を巡り、多彩な品種のバラを楽しみました。

イベントは、「のじりアグリサービス」、「のじりこぴあ観光バラ園」、「萩の茶屋」の3施設が連携し、野尻をバラの名所として盛り上げようと企画。のじりこぴあを運営するハーメックのじりの田爪喜三郎統括は「初めての企画だったが、大きく誘客につながった。これをきっかけに、また新しい連携や広がりが出てくれば」と話していました。

各家庭や国道沿いでの栽培が広がっている野尻地区。また来年が楽しみです。

（上・中）年間を通しバラ狩りが楽しめるバラ園。（下）バラが新たな名物となっている萩の茶屋

行政評価

外部評価委員を募集します

市役所の仕事、あなたはどう評価する？

外部評価委員会の様子

あなたの評価が、まちをもっとよくする

市役所では、保健、福祉、産業、教育など、さまざまな分野の事業を行っています。それぞれの現状や成果を振り返って、内部や外部の意見を参考に、事業を評価し、改善していく仕組みがあります。それが「行政評価制度」です。

市では、平成17年度に市役所内での「内部評価」を導入し、23年度から市民の意見を取り入れるため「外部評価」を始めました。

まずは市役所の仕事と現状を知ることから

「行政評価制度」は、「限られた資源（人・モノ・金）が効率的に使われているか」をチェックする仕組みです。具体的には、外部評価の場合、「市役所がどんな仕事をしているのか理解する」、「各仕事に対する内部評価（市役所が行う評価）が妥当かを見る」、「市民目線で市役所の仕事を評価する」ことなどを行います。

結果を見てみる？評価に参加してみる？

行政評価の結果は、仕事の改善だけでなく、総合計画の進行管理や、予算の増額や減額を判断する材料としても使います。また、まとめた結果は各庁舎や市ホームページで誰でも見ることができます。

現在、平成27、28年度の「外部評価委員」を募集中。この機会に、小林市をもっとよくする外部評価に参加してみませんか。

インタビュー　外部評価委員会に参加してみて

市の事業を知るいい機会。若い世代こそ参加しよう

和福祉サービス 代表
小倉（おぐら） 和也（かずや）さん

市役所が行っている事務や事業の多さに、まずは驚きました。わたしたち市民は、その事業のほとんどを知りません。委員会で事業を知り、改善が必要なものについて、しっかりと意見が言えたので良かったです。外部評価には専門的な知識はいりません。事業を知り、内容に疑問を持つだけでも意義があると思います。協働のまちづくりの視点からも、わたしたち市民が、参加することがまずは大事。市民目線の客観的な評価が必要であり、外部評価はそのいい機会になります。そして、ぜひ未来を担う若い世代にも積極的に参加してほしいですね。

募集！
平成27・28年度外部評価委員

- ■募集人数＝4人程度（選考の上、決定します）
- ■任期＝委嘱の日から平成29年3月31日
- ■会議開催回数＝年間8回程度
- ■応募条件＝小林市在住の人
- ■応募方法＝応募用紙に必要事項を記入し、「行政評価に対する私の考え」をテーマとした作文（任意の書式で200字以上）を添付し、郵送、または直接お持ちください。応募用紙は、本庁1階総合案内所、須木・野尻庁舎、西小林・紙屋出張所にあります。市ホームページからもダウンロードできます。
- ■募集締切＝6月22日（月曜）必着

■申し込み・問い合わせは **企画政策課**

TEL 23-0456　ファックス：25 - 1037　メールアドレス：k_kikaku@city.kobayashi.lg.jp